



『シキミのグンバイムシ類防除』

現在、シキミでシキミグンバイなどグンバイムシ類が多発しています。加害されると著しく品質を損ないます。発生を確認したら早期に防除を行ってください。

《被害の特徴》

- ・ 5月上旬頃から軍配の形をした羽を持つ成虫が現れ、秋季まで葉裏に寄生して増殖を繰り返します。とくに5～7月、10月が発生のピークとなります。
- ・ 葉の表面は退色してかすり状になり、葉裏は脱皮殻やタール状の排泄物などが付着し、商品価値が下がります。



グンバイムシ成虫



葉表のかすり症状



葉裏への寄生

《防除》

- ・ 初発を確認したら、かすり状にならないうちに春～夏を中心に葉裏にかかるよう薬剤散布します。

シキミ グンバイムシ類 登録農薬 令和4年5月現在						
農薬名	適用作物	希釈倍数	使用量	有効成分	使用回数	使用方法
スミチオン乳剤	樹木類	1000倍	200～700 μl/10 a	MEP	6回以内	散布
ダイリーグ粒剤	しきみ	/	12kg/10 a	アセタミプリド	5回以内	株元散布
モスピラン顆粒水溶剤	樹木類(まつ、やなぎ、さくらを除く)		2000倍			200～700 μl/10 a